

最新鋭設備によるアルミ製品精密加工  
- A POWER OF TECHNOLOGY -



協立機興株式会社

KYORITSU



エコアクション21

# 環境経営レポート

2024年9月1日～2025年8月31日

発行日：2025年10月31日

# 目 次

1. 事業活動の概要
2. 環境方針
3. 環境管理実施体制・責任及び権限
4. 環境目標と実績
5. 環境活動の取組内容
6. 環境活動の取組結果の評価
7. 次年度(55期)環境活動の取組内容
8. 環境関連法規制の順守状況
9. 代表者による全体の評価と見直し・課題とチャンス

## 事業活動の概要



本社工場



豊代工場



栃木工場

当社は、最新鋭の同時五軸・門型五面加工・横型・縦型マシニングセンターを保有し、最大ストローク7,000×4,000×1,960まで、対応可能。少ロット多品種の加工を得意としています。材質はアルミニウム・ステンレス・チタンがメインです。品質面でも、三次元測定器による精密測定をおこなっており、サイズも最大1,200×2,000×1,000まで対応可能です。また、C A T I A-V 5により曲面形状確認も可能としています。

### 当社の最新鋭主力設備等



マキノライ工業 MAG1 (5軸制御)  
50 ~ 33,000 回転  
ストローク: 1,520 × 1,100 × 1,350



マキノライ工業 MAG3 (5軸制御)  
50 ~ 33,000 回転  
ストローク: 4,000 × 1,800 × 1,000  
(6パレットシステム導入)



ヤマザキマザック V140N 門形マシニング  
10 ~ 10,000 回転  
ストローク: 7,000 × 4,600 × 1960

### 事業内容 (マシニング・旋盤加工)

- 精密機器 …… 半導体露光製造装置、液晶露光装置、医療機器 等
- 輸送用機器 …… 航空機、鉄道車両、自動車、ロケット 等
- 産業用機器 …… 都市ガス用メーター、空圧機器部品 等

## 近年の重点事業活動として

前年比 10%の生産性向上を目標にたて、  
楽に、早く、品質の良いものをお客様に提供  
するための改善活動を実施しております。

また、平成 27 年 4 月に連続無災害 10 年の  
金賞受賞を機に、さらなる安全・健康で快適  
な作業環境を実現するよう努めていました。



事業者名	協立機興株式会社
所在地	[本社・本社工場] 敷地面積 5,905 m <sup>2</sup> TEL 0283-85-4121 FAX 0283-85-2615 〒327-0508 栃木県佐野市鉢木町 13 番 33 号 [豊代工場] 敷地面積 7,032 m <sup>2</sup> 〒327-0512 栃木県佐野市豊代町 665 番地 1 号 [田名網工場] 敷地面積 812 m <sup>2</sup> 〒327-0512 栃木県佐野市豊代町 1077 番地 [豊代西工場] 敷地面積 363 m <sup>2</sup> 〒327-0512 栃木県佐野市豊代町 643 番地 [栃木工場] 敷地面積 10,532 m <sup>2</sup> 〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町壬生乙 3610-1
環境最高経営責任者	【代表取締役】 齋藤 宣義
環境管理責任者	【取締役工場長】 谷中 剛
設立	1972年7月
資本金	3,000万円
従業員数	155名(2025年8月 全従業員数)
売上高	2,830百万円(2024年度)
事業内容	金属(アルミニウム、ステンレス、鉄、チタン等)精密加工部品の製造及び表面処理
認証取得	ISO 9001 (2004年8月) JIS Q 9100 (2011年6月) エコアクション21 (2011年3月)
主な得意先	(株)竹中製作所、(株)UACJ 鋳鍛、SMC(株)、キャノン(株)、キヤノンアネルバ(株) キヤノンセミコンタクターエクイップメント(株)、(株)アーレスティ栃木、川崎重工業(株)、東 京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)、(株)ギガフォトン、共和ダイカスト(株) など

# 環 境 方 針

## 環 境 方 針

### 《 基本理念 》

私達は、環境に対する社会的使命と責任を認識し、地域社会及び関連企業と一体となり、「地球にやさしい環境づくり」を目指し、環境改善活動を継続して推進します。

### 《 基本方針 》

この理念のもと、当社が行うアルミニウム・SUS・難削材の精密加工に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 企業活動が環境に与える影響を的確に把握し、環境マネジメントシステムの継続的な維持、改善を図り、環境汚染の予防及び防止に取り組みます。
2. 環境に関連する法規制、顧客関連・地域協定事項等の要求事項を順守すると共に、地域社会との良好な関係に配慮した事業活動および環境管理を行います。
3. 環境目的・目標及びその達成計画を定め、運用、評価し、それらを必要に応じて見直し、継続的に活動します。

### — 環境保全、汚染予防の優先活動項目 —

- ① 省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量：CO2削減を含む）
- ② 資源の削減（水使用量、紙使用量）
- ③ 省資源化、歩留（材料）の向上による推進
- ④ 化学物質の含有成分の把握と法規制の順守活動
- ⑤ 廃棄物の発生源対策とリサイクルの推進による廃棄物量の削減
- ⑥ 地域住民の環境を考慮した適切な騒音状態の維持

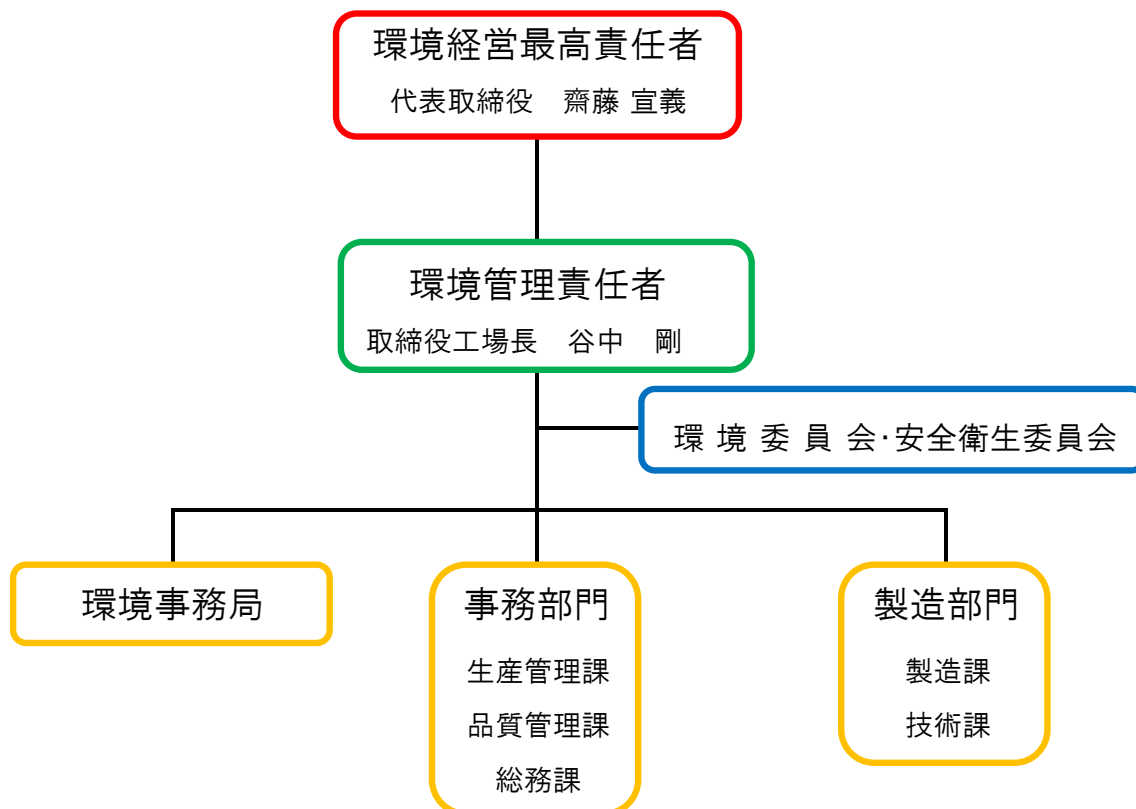
2022年11月1日

協立機興株式会社

代表取締役 齋藤 宣義

# 環境管理実施体制・責任及び権限

## エコアクション21環境推進組織図



## 役割分担表

担当者	役割・責任及び権限
トップマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムの最高責任者</li> <li>環境方針を定め、必要に応じて見直す</li> <li>環境マネジメントシステムのマネジメントレビューを行う</li> <li>経営資源（要員・設備・資金等）を経営上可能な範囲で用意する</li> <li>環境管理責任者を任命する</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントシステムを構築し、運用し、維持する責任と権限を有する</li> <li>品質/環境会議を運営する</li> <li>環境方針・環境目的に沿った環境活動計画書を作成する</li> <li>『環境関連法規等とりまとめ一覧』を作成し、最新の状態を維持する</li> <li>環境に係わる教育訓練を推進する</li> <li>環境に関する行政機関対応の責任者</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、環境マネジメントシステムを推進する</li> <li>エコアクション21に関する実務全般を所管する</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標の設定・環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する</li> <li>製品含有量調査の実施</li> </ul>

## 年度別環境目標と実績

当社の環境目標実績及び、今後の達成目標値は下記となります。

事業年度			52期	53期	54期	55期	56期
項目			2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月	2025年9月～ 2026年8月	2026年9月～ 2027年8月
二酸化炭素 *3	排出量 (kg-CO2)	目標	2,200,000	1,680,000	430,000	430,000	428,000
		実績	1,696,725	435,024	399,597	—	—
		対前年比(%)	-0.24	-74.4	-0.08	—	—
電力	使用量 (kWh)	目標	4,500,000	4,300,000	4,100,000	4,100,000	4,050,000
		実績	4,320,460	4,196,120	4,107,781	—	—
		対前年比(%)	-0.09	-0.03	-0.02	—	—
切削油 *1	購入金額 (千円)	目標	17,000	17,000	18,000	17,000	16,500
		実績	17,819	18,385	18,237	—	—
		対前年比(%)	+0.07	+0.08	-0.01	—	—
燃料使用量 (ガソリン)	使用量 (ℓ)	目標	11,000	12,000	12,000	12,000	12,000
		実績	12,790	12,207	12,073	—	—
		対前年比(%)	+0.22	0.05	-0.06	—	—
燃料使用量 (軽油)	使用量 (ℓ)	目標	38,000	35,000	27,000	27,000	27,000
		実績	35,245	27,343	17,768	—	—
		対前年比(%)	-0.04	-0.22	-35.0	—	—
燃料使用量 (灯油)	使用量 (ℓ)	目標	14,000	12,000	14,000	14,000	13,800
		実績	12,042	14,398	12,707	—	—
		対前年比(%)	-0.16	+0.20	-10.2	—	—
廃棄物 (廃油)	廃棄量 (t)	目標	600	600	600	700	680
		実績	609	640	620	—	—
		対前年比(%)	+0.05	+0.17	-0.03	—	—
使用水量 *2	水量 (m <sup>3</sup> )	目標	15,000	6,900	7,100	7,000	6,900
		実績	6,972	7,365	7,251	—	—
		対前年比(%)	-0.52	+0.06	-0.01	—	—
加工不良材	不良額 (千円)	目標	1,700	1,700	2,500	2,500	2,400
		実績	3,131	2,877	3,809	—	—
		対前年比(%)	-0.22	-0.08	+24.5	—	—

\*1 切削油：多種類あり、使用量把握が難しいため、購入金額としました。

\*2 現在、水資源は、総排水量の把握が出来ない（下水無）為、使用量を把握します。

\*3 事業年度：9月1日～8月31日 電気使用量に対する二酸化炭素の排出量

# 環境活動の取組内容

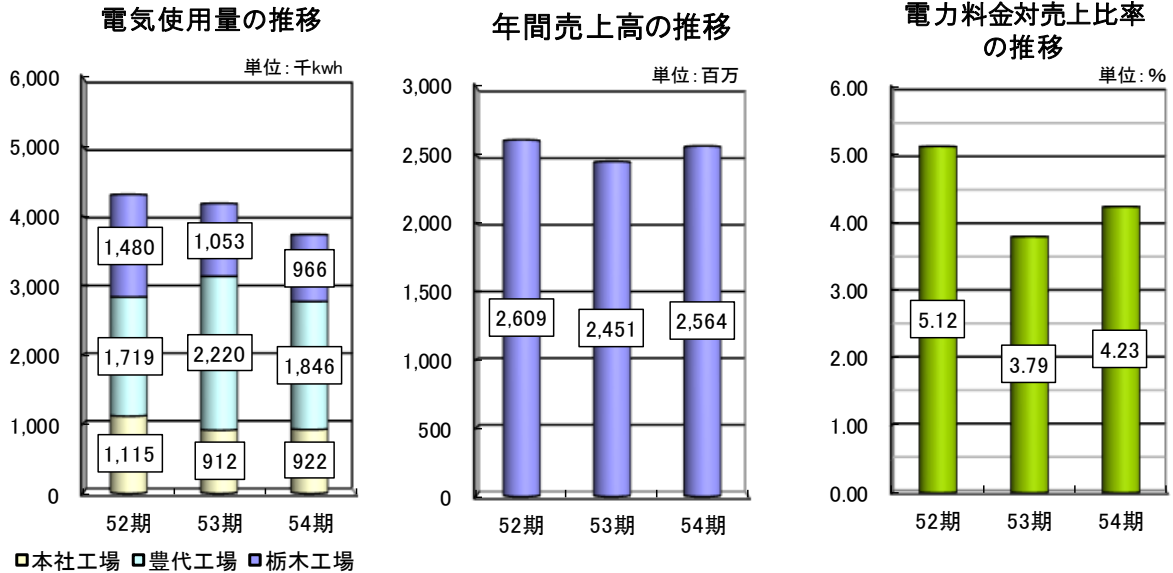
当社では、トップマネジメントが定める環境目標を基に、環境事務局が活動計画を作成し、各部署長は、この活動計画より、活動を実施いたします。

経 営 者				
環境方針	環境活動の意図，方向性を明確にする。			
↓	※各部署に掲示（全員に掲示場所を周知）			
環境目標	管理項目の設定と活動目標を明確にする。			
	※各課取組事項に環境に関する項目を考慮			
区分	項 目	事 務 部 門	製 造 部 門	運 送
資源使用量 限られた資源の有効活用	<b>電力使用量</b> (デマンドコントロールによる上限管理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温調機の温度使用制限</li> <li>・ 電灯の消灯ルール化 (昼時、消灯等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温調機の温度使用制限</li> <li>・ 休日、夜勤の動力電源ルール</li> <li>・ 電気炉入電時間の制限</li> </ul>	
	<b>燃料使用量</b> (ガソリン, 軽油, 灯油)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配車計画 (効率の良い)</li> <li>・ アイドリングストップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストープの使用制限</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アイドリングストップ</li> </ul>
	<b>切削油使用量</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 切削水濃度管理</li> <li>・ 切削水, 切削液の洩れ防止</li> </ul>	
	<b>水道使用量</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水 (蛇口の締め忘れなきよう)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水</li> <li>・ 再利用 (切削水・表面処理施設)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節水 (洗車時等)</li> </ul>
	<b>紙使用量</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示板の活用又は回覧</li> <li>・ 社内メールの活用</li> <li>・ 両面コピー化, 裏紙の活用</li> </ul>		
	<b>製品含有量調査</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ chemSHERPA 等にて調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 禁止物質の使用禁止</li> </ul>	
廃棄物排出量 廃棄物の発生の低減	<b>廃油量</b> (産業廃棄物)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水洗による廃油の再利用と洗浄液交換頻度の減</li> </ul>	
	<b>可燃ゴミ</b> (一般廃棄物) 紙, 生ゴミ, 手袋, 石油製品等 <b>不燃ゴミ</b> 蛍光灯, 乾電池, ゴムくず, ガラス等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務所類のシュレッダー化 干渉材としての再利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手袋, ウエスの洗濯による再利用 (廃棄物の削減)</li> </ul>	
	<b>加工不良材</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加工不良の削減 (朝礼等にて不良原因の周知、プログラム・セットミスによる人的要因の削減)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品を丁寧に扱う</li> </ul>

# 年度別環境活動の取組結果と評価

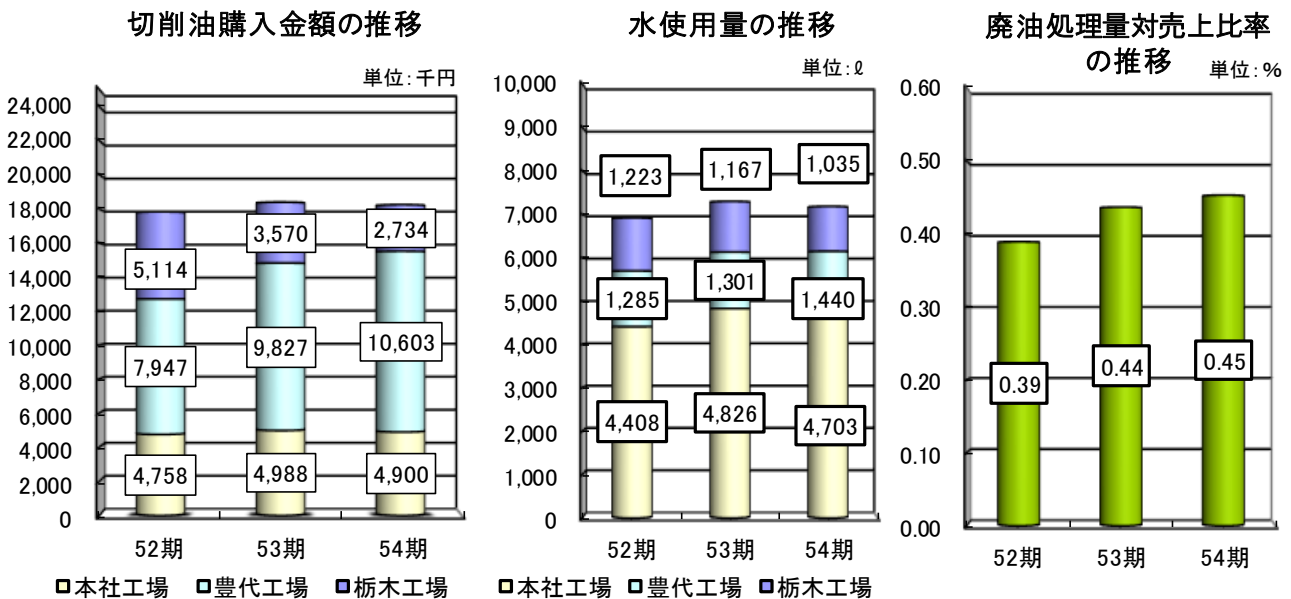
田名網工場・豊代西工場は少量の為、本社工場・豊代工場に含めて集計します。

## 電気の使用量等の推移



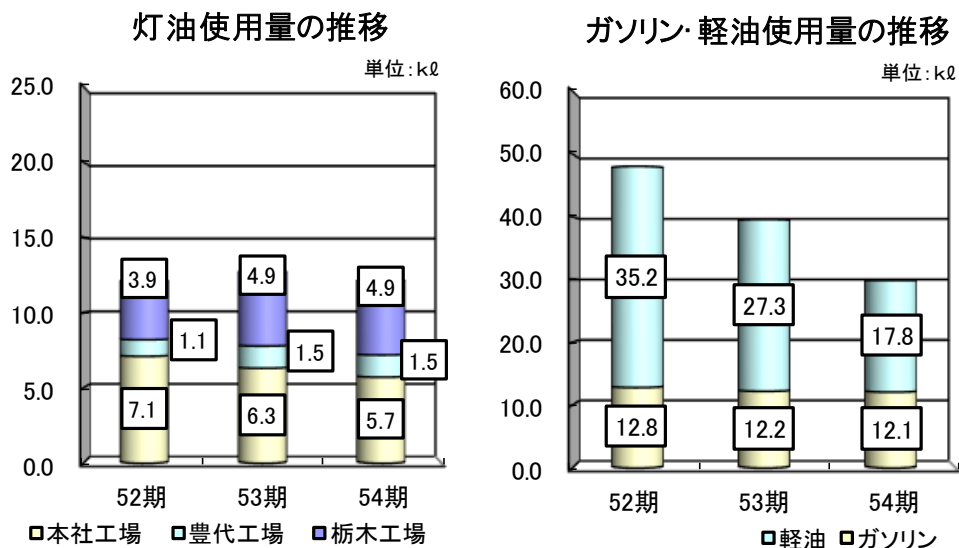
今年度（54期）は、53期より売上が回復しました。太陽光発電システムの導入により、徐々に効果が表れ、電気の使用量が減少しています。電力料の売上対比が増加しています。

## 切削油、水使用量、廃油処理量の推移



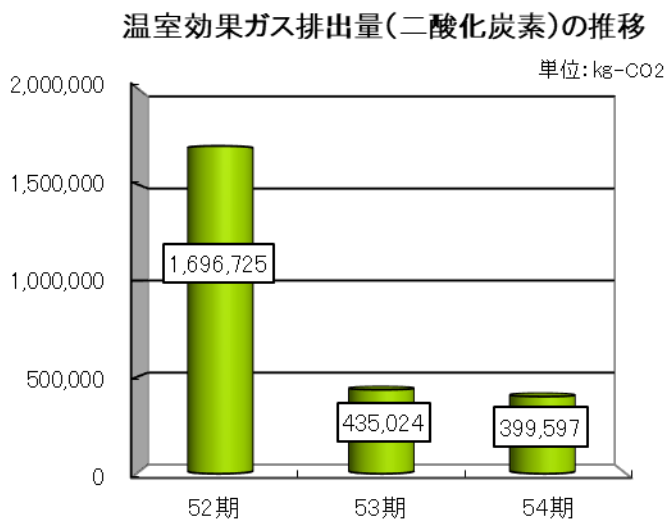
本社の第2工場が稼働していないため、切削水の購入金額が下がりました。水の使用量は例年とほぼ横ばいになっており、売上対比も大きく変わっていません。

## ガソリン、軽油、灯油使用量の推移



灯油の使用量は、大きく変化はありません。自社トラック売却により外注化したため、昨年に引き続き、減少しています。

## 温室効果ガス排出量の推移



※左記、二酸化炭素排出量を把握する際に用いた購入電力の排出  
(令和7年提出用数値参照)

本社工場	}	日本テクノ (CO <sub>2</sub> フリー)
豊代工場		
豊代西工場		
田名網工場	→	佐野瓦斯 (0.340kg-CO <sub>2</sub> /kWh)
栃木工場	→	東京電力エナジーパートナー (0.408kg-CO <sub>2</sub> /kWh)

二酸化炭素の排出量は、本社・豊代・豊代西工場が、CO<sub>2</sub> フリーの電気を使用しているため、全体を通して二酸化炭素の排出係は少なくなっています。今後は、同等で推移していくと思われます。

## 今期環境目標に対して、まとめ

今年度の環境目標に対し、達成することができない項目が多々ありました。  
前年導入した太陽光発電システムの効果が出てきており、電気量の減少に繋がっています。  
事業活動の経費削減の取組継続より、更なる環境改善活動を推進します。

## 次年度（５５期）環境活動の取組内容

### 電気使用量の削減

電気使用削減に向けた取組の推進

- ・ 電気使用に関するルール化（節電等）
- ・ 最大電力使用量の抑制
- ・ 省エネ設計電化製品等入換検討（空調機）など

### 燃料使用量の削減

化石燃料の効率の良い使用の推進

- ・ エコ運転の推進（アイドリングストップ、効率の良いコース走行計画）
- ・ 乾燥炉（灯油使用）の時間見直し

### 廃棄物削減の推進

入口から、出口までの徹底管理による廃棄物削減の推進

- ・ 廃却不良材の削減（無駄の無い資源利用）
- ・ 切削油の希釈率見直しによる、切削油の延命
- ・ 洗浄水の切削水としての再利用
- ・ ウエス、手袋の洗濯による再利用
- ・ ウエス使用の制限

### グリーン製品調達の推進

環境に配慮した製品購入の推進

- ・ 再生紙
- ・ 再生トナー（純正品）
- ・ 省エネ設計電化製品等など

### 環境教育

エコアクション21認証取得に向けての環境配慮の理解を深める

- ・ 当社の環境負荷（環境影響に支障をきたすもの）
- ・ 環境法規制等の順守（廃棄物処理、騒音、振動など）
- ・ 取引先要求事項の把握と順守（キヤノン、SMC等：グリーン調達基準）
- ・ 環境経営レポートの確認

## 環境関連法規制の順守状況

2025年8月31日に環境関連法規制の遵守評価を行った結果、違反はありませんでした。  
弊社は、会社設立時にさかのぼっても、環境関連法規に関する違反及び訴訟は全くありません。

2025年8月31日現在

### 【適用となる主な環境関連法規】

浄化槽法

騒音規制法

振動規制法

栃木県生活環境の保全等に関する条例

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）

特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）

使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）

フロン排出抑制法

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）

毒物及び劇物取締法

公害防止組織法

水質汚濁防止法

## 代表者による全体の評価と見直し・課題とチャンス

見直し関連情報	項目		確認（必要に応じて評価コメント記載）
	1	環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> （変更なし）
	2	環境活動の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> （継続して取り組みます）
	3	環境目標の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	環境に関する組織	<input checked="" type="checkbox"/> （継続して進めます）
	5	その他	<input checked="" type="checkbox"/>

全体評価・見直し指示 代表者による	見直し項目		変更の必要性	①の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 無	
	2	環境活動の取組み	有 無	未達に終わった目標の活動計画を見直すこと
	3	環境目標の達成状況	有 無	
	4	環境に関する組織	有 無	
	5	その他	有 無	

経営における 課題とチャンス	課題（事業上の弱み、問題点等）		チャンス（事業上の強み、有利な点等）	
	外 部	① 原材料費の高騰 ② 半導体関連の仕事量の減少が継続 ③ 運送を外注化	外 部	① 相見積りを実施し、仕入単価の削減 ② 改善活動の実施 ③ 新規取引先の開拓
	内 部	① 物価の高騰 ② 人材の確保・育成を実施 ③ 経費削減になる可能性あり	内 部	① 経費の削減 ② 二酸化炭素排出量の削減 ③ 新入社員3名の入社による若返り

54期（2024年）は、半導体関連の仕事が前期から引き続き、減少している状況にあります。逆に航空機関連の仕事が増加し、回復の兆しがあります。弊社の技術力をアピールし、営業活動を通して新規製品の受注を増やしてやっていきたい。

加工不良の目標は今年度も未達でしたが、来年度は改善できるように、来年度も環境に配慮して仕事を行っていきます。

2025年10月31日

協立機興株式会社  
代表取締役 齋藤 宣義

レポートについてのお問合せ

協立機興株式会社 環境事務局

栃木県佐野市鉢木町13-33

TEL 0283-85-4121 FAX 0283-85-2615